

お楽しみはこれからだ!

YAH! ヤー!

2020.09.10

第16号

YOU AIN'T HEARD NOTHIN' YET!

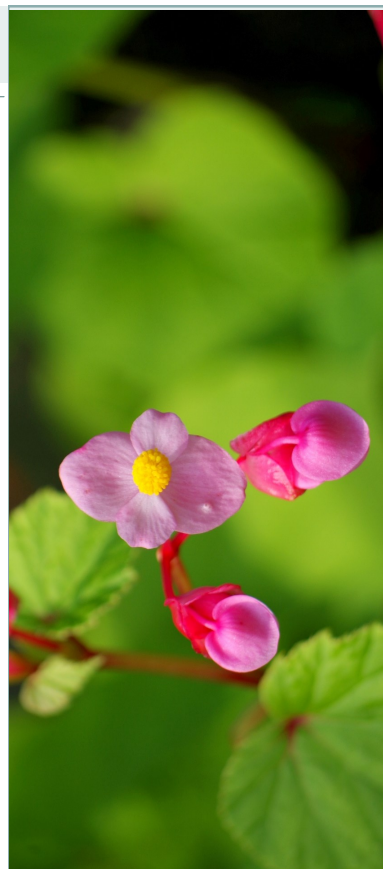
思い出はみんなまぼろし

吉田義男と桑田武、そして佐田の山と若秩父

幼馴染の“よしくん”はよほどおとなしい子供だった。体調をくずしていることは聞いていたが、亡くなったとの知らせは、やはり唐突で残念でならない。昭和も30年代、先の東京オリンピックの少し前のことだったか、そんな二人が、ほぼ同時に野球のユニフォームを買ってもらったことを覚えている。それぞれが親に縫い付けてもらった背番号は、私が[23]で彼は[8]であった。[23]は阪神タイガースの[吉田義男]、[8]は大洋ホエールズの[桑田武]だったのだが、兩人とも当時の“地方”ではテレビ中継もほぼ『キョジン対それ以外』であって、相当の“へそまがり”だったのかもしれない。

一方、お相撲では、私が[佐田の山]で彼は[若秩父]、これもまた兩人とも大鵬ファンでないところがなんとも味わい深い。彼は小学校を卒業と同時に県庁所在地へ引っ越していった。それ以来会っていない。その“よしくん”が、更に遠く離れて静かに逝ってしまったことを、老母との電話のやり取りで知らされた。親同士は年賀状程度ではあったろうが、親交は続いていたらしい。

さて、我が阪神タイガースはその後1985年に、管理野球の継承者といわれた『広岡・西武』を打ち負かして日本一になり、佐田の山は引退後出羽の海親方から、やがて理事長になった。一方、大洋ホエールズももう少し時間がかかったものの、またチーム名こそ変わったが同じく日本一になった。若秩父は常盤山親方として向正面の解説として長くお茶の間にはなじみ深かった…などという話をちょっと“得意げに”話してみたかった。おとなしい“よしくん”はにこにこしながら、黙って聞いてくれたに違いない。



秋海棠

今月のYAH! ね・後記・

この時季、いたるところで咲いている。コスモスとは同じキク科に属するものの、全くの別種で、この間の交配というのはないそうだ。色的にはかなり派手で、目に眩しいほどだが、存在そのものは比較的地味で主張がない。近所の元小学校(統合後、こちらは廃校となって市の施設となり、それなりに管理されている)の校門だったところの脇で、花壇散歩の折に出会ったもで、足が止まるのにやや“思いきり”を要したものだ。



キバナコスモス